

## ご利用案内



## アクセス

- JR「三ノ宮」、阪急・阪神「神戸三宮」、ポータライナー・地下鉄（西神・山手線）「三宮」から南西へ徒歩約10分
- 新幹線「新神戸」から神戸市営地下鉄（西神・山手線）で「三宮」下車
- 神戸空港からポータライナーで約18分、「三宮」下車
- JR、阪神「元町」から南東へ徒歩約10分
- 地下鉄（海岸線）「旧居留地・大丸前」から南東へ徒歩約8分

## 利用案内

- 開館時間：午前9時30分～午後5時30分  
（入館は午後5時まで）
- ※金・土曜日は午後7時30分まで開館  
（入館は午後7時まで）
- 休館日：毎週月曜日  
（ただし、月曜日が祝日または休日の場合は開館し、翌平日に休館）
- ※年末年始のほか、整備休館など臨時に休館及び開館することがあります。

※詳細は右記のホームページか、博物館までお問い合わせください。



神戸市立博物館は、昭和10年(1935)に建築された旧横浜正金銀行神戸支店を増改築し、昭和57年に開館しました。御影石の外装を施した古典主義様式の建物で、平成10年(1998)に国の登録有形文化財(建造物)になりました。



神戸市立博物館  
公式ホームページ



Twitter・Facebook @kobemuseum  
Instagram kobemuseum

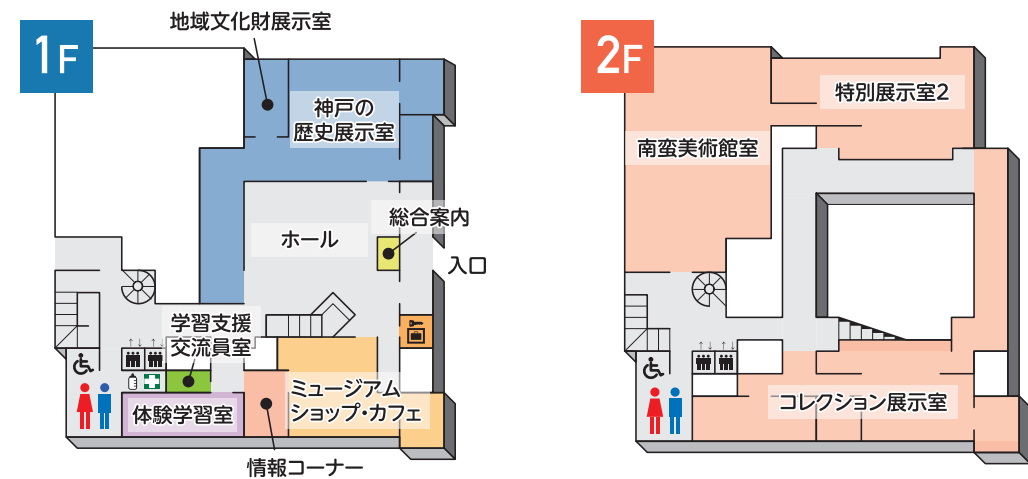
神戸市広報印刷物登録 令和3年度 第435号  
広報印刷物規格B-2類

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、  
展示会の延期・中止、ならびに関連事業の中止  
をさせていただく場合があります。

## 神戸市立博物館

〒650-0034 神戸市中央区京町24番地  
TEL.078-391-0035 FAX.078-392-7054  
https://www.kobecitymuseum.jp/

## 館内のご案内



### 1F

- 神戸の歴史展示室 [常設展・無料]  
海や港を介して営まれた神戸の歴史と文化交流について、年代別に展示しています。
- 地域文化財展示室 [無料]  
定期的にテーマを変えながら、神戸の歴史を語る上で欠かせない重要な資料を展示します。
- 体験学習室 [無料]  
神戸に関連した歴史について「見て、触れて、楽しく」学ぶことができます。

■情報コーナー [無料]  
神戸関連の図書を配架。タッチパネルによりコレクション、神戸の歴史に関する情報を検索できます。

■ミュージアムカフェ・ショップ  
特別室は、明治時代の異人館「トムセン邸」の部材を使用した空間です。



### 2F・3F

- 南蛮美術館室・特別展示室1・2 [有料]  
特別展・企画展を開催します。展示内容、期間については、年間スケジュールをご覧ください。

### 2F

- コレクション展示室 [常設展・有料]  
当館には国宝1件21点、重要文化財7件76点を含む、約7万点の館蔵品があります。コレクション展示では、テーマごとに館蔵品を鑑賞いただけます。
- 国宝 桜ヶ丘銅鐸・銅戈  
昭和39年(1964)に灘区桜ヶ丘町で発見された銅鐸14口と銅戈7口を、間近にご覧いただけます。

■聖フランシスコ・ザビエル  
日本に初めてキリスト教を伝えた聖人の肖像と、キリシタンの信仰を今に伝える資料を展示します。

- 美術  
南蛮美術や黄葉絵画、南蛮風花鳥画、洋風画など。
- 古地図  
近世日本で作られた地図や西洋古版図など。
- びいどろ・ぎやまん・ガラス  
「びいどろ史料館コレクション」を中心に、近世・近代に製作されたガラス工芸品。
- 考古・歴史  
原始・古代～近現代までの神戸の歴史を伝える多様な資料。

## ニュー&コラム

### 神戸歴史見聞録 参拾捌 38

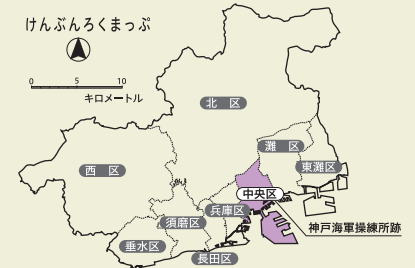
このコーナーでは、知られているようであまり知られていない神戸の歴史について、博物館ならではの視点でご紹介します。

## NEWS COLUMN

### 中央区 神戸海軍操練所跡

神戸市立博物館正面玄関から南へ2～3分ほど歩いて、京町筋を反対側へわたったところ、京橋のたもとに、神戸海軍操練所を記念する碑(昭和43年(1968)作成)があります。神戸海軍操練所は、開国の波が押し寄せた幕末に、海軍を支える人材を養成するため、勝海舟の建言によって元治元年(1864)に創設されました。施設には、近代的な船やその修繕設備が備えられていました。ところが同年の禁門の変後、勝海舟は長州藩士との関係を疑われたことで失脚、神戸海軍操練所も開所から1年に満たない慶応元年(1865)に廃止されることになりました。

当時の敷地は、この碑から東側の一帯に広がっていましたが、慶応3年12月7日(1868年1月1日)の神戸開港に際し、外国人の居住と営業のために神戸外国人居留地が整備されていく中で、ドックなどの痕跡は撤去されていきました。その後、埋め立ての進行により、海が以前より遠く感じられるようになりました。



さらに高速道路やビルも建ち並び、現在の碑の周辺は、約150年前と全く違う景観になっています。当館には、海軍操練所の絵図の写しと、操練所の建物が移築された湊山小学校(平成27年(2015)閉校)に伝わった鬼瓦が所蔵されており、往時をしのぶことができます。(水嶋 彩乃)



海軍操練所跡の碑



「神戸海軍操練所鬼瓦」  
文久3年(1863)～元治2年(1865)頃 当館蔵

## NEWS COLUMN

### 2 新収蔵資料 「平清盛と家臣(無題)」

平清盛を筆頭に、平氏の一族や家臣たち武者が勢ぞろい。江戸時代の浮世絵師、喜多川月麿(生没年不詳)が描いた本作は、「武田二十四将図」や「徳川家康十六神将図」の平氏バージョンと言えるでしょう。そんな作品が、平氏ゆかりの地神戸のコレクションに加わりました。

描かれているのは、上から「平清盛」「小松三位重盛」「内大臣宗盛」「無官大夫敦盛」「薩摩守忠度」「斎藤当実盛」「三位道盛」「三位中将重衡」「参儀経盛」「平是盛」「越中前司盛俊」「弥平兵衛宗清」「武蔵守知章」「後藤兵衛盛長」「主馬判官盛久」「難波六郎経俊」「平知盛」「七兵衛景清」(作品の表記ママ、旧字は適宜新字に改めた)の21将。いずれも、『平家物語』やそこから派生した作品で、平氏の栄枯盛衰を彩った武将たちです。敦盛だけ髭が描かれず若武者であること

を表していたり、源義経の家臣佐藤嗣信を射殺した名手教経の手にはトレードマークともいえる弓が握られていたり、武将それぞれのイメージが反映されて描かれています。あなたの「推し」はどのように描かれているでしょうか。

本作品は、いち早く皆さまにご覧いただくべく、地域文化財展示室「神戸の平家物語」(令和4年2月5日～3月27日)にて、お披露目の予定です。この機会にぜひご覧ください。

(三好 俊)



「平清盛と家臣(無題)」 文化年間 当館蔵

# 博物館だより

2022

No.120

KOBE CITY MUSEUM



## 特別展 大英博物館ミイラ展 古代エジプト6つの物語



### アメンイリイレットの内棺 (部分) 前600年頃

エジプト南部の都市・テーベの役人を勤めたアメンイリイレットの内棺。冥界の神・オシリスとの同化を目的に、顔は緑色に塗られています。古代エジプトの人々のミイラ作りや信仰、当時の暮らしはどのようなものだったのでしょうか。最新の科学技術によって明らかになった、古代エジプト6つの物語のはじまりです。

特別展  
「大英博物館ミイラ展  
古代エジプト6つの物語」  
2022年2月5日(土) — 5月8日(日)

# 大英博物館から

## 6体のミイラがおりなす、古代エジプト6つの物語

本展では、大英博物館のコレクションから厳選された古代エジプトの6体のミイラが出品されます。それぞれのミイラの年齢、性別、暮らしていた時代などは様々です。CTスキャン分析の結果を紹介するとともに、それぞれのミイラに「ミイラ作り」「神々の信仰」「暮らしと食」などのテーマを設けて、6つの物語を展覧します。ここでは、エジプト南部の都市・テーベの役人アメンイリイレトをご紹介します。

### CTスキャン分析による 3次元構築画像

最新のミイラ研究に採り入れられているのは、私たちの健康状態を知るためにも利用されているCTスキャン技術(X線写真)。この技術を活用することで、ミイラの包帯を解くことなく、当時の姿のままで性別、年齢、身長、生前の健康状態などの情報を知ることができるようになりました。今日では、ミイラの頭頂から足先までを数千カ所にわたってX線撮影した画像を立体化し、3次元の画像を構築することも可能となっています。実際には見るできない、包帯で覆われたミイラ内部の構造まで知ることができるのです。



ロンドンのブロンプトン王立病院でCTスキャンにかけられるネスベルエンネプウのミイラ

# ミイラがやってくる!

### エジプト南部の都市・テーベの役人 アメンイリイレト



アメンイリイレトの内棺  
前600年頃

アメンイリイレトのミイラ

ミイラのCTスキャン画像から作成した3次元構築画像

ジェドバステイウエフアンのカノボス壺  
前380～前343年頃

アメンイリイレトのビーズネット  
前600年頃

※掲載画像はすべて大英博物館蔵  
©The Trustees of the British Museum

### よみがえる 古代エジプト人の生と死

会場では外側からは見えないミイラの体内や副葬品の様子を復元した3次元構築画像の動画を用いて、最新の研究成果をご紹介します。古代エジプトの人々の家族への思い、食生活と病気との関連は、現在の私たちにとっても通ずるものがあるのかもしれませんが。6体のミイラを含む、大英博物館が所蔵する約250点の名宝を通じて、古代エジプトの人々の信仰やミイラ作りの理解を深める機会となれば幸いです。(中山 創太)

詳しくは、  
こちらでチェック



「特別展」大英博物館ミイラ展 古代エジプト6つの物語

展覧会スケジュール 2022.2 — 2022.5

2022年	2月 February	3月 March	4月 April	5月 May
【休館日】	1~4・7・14・21・28	7・14・22・28	4・11・18・25	

特別展  
23階

2/5 sat

### 特別展 大英博物館ミイラ展 古代エジプト6つの物語

■2022年2月5日(土) — 5月8日(日)

5/8 sun

2/5 sat

### びいどろ・ぎやまん・ガラス 雛のガラス

■2022年2月5日(土) — 3月13日(日)

江戸時代のガラス器には、雑道具として使用されたミニチュアサイズの皿や瓶を見かけることが少なくありません。「桃の節句」にあわせて、雛=小さくて、愛らしいびいどろや切子をご紹介します。



◎「切子ガラス雑道具」一式  
江戸時代後期～  
明治時代前期  
(1844-87)  
びいどろ史料館コレクション

◎「丸彫り桃形紫色ガラス碗」  
明治時代前期(1867-87)  
びいどろ史料館コレクション

3/13 sun

3/15 tue

### びいどろ・ぎやまん・ガラス ガラスの文房具

■2022年3月15日(火) — 5月22日(日)

中国が始まりとされる文房(書齋)を飾る硯、筆、墨などの器物を鑑賞する「文房清玩(ぶんぼうせいがん)」と呼ばれる習慣。日本でも江戸時代に流行したといわれています。ガラス製文房具が持つ、清らかな美に触れる機会となれば幸いです。

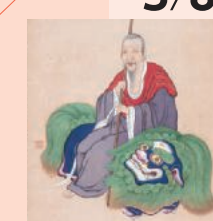


3/29 tue

### 美術 隠元禅師と黄檗絵画

■2022年3月29日(火) — 5月8日(日)

日本に黄檗宗のみならず、さまざまな中国文化をもたらした隠元隆琦禅師の350年遠忌に際して、当館が所蔵する黄檗絵画の優品をご紹介します。



喜多道矩筆、隠元隆琦賛  
「隠元倚騎獅像」江戸時代、17世紀  
池長孟コレクション

5/22 sun

5/8 sun

コレクション展示  
2階

2/5 sat

### 古地図 新規受贈展

■2022年2月5日(土) — 3月27日(日)

今年度寄贈いただいた、川口コレクションを一堂に紹介します。名所図会の嚆矢(こうし)とされる『都名所図会』をはじめ、各地の名所図会や航路図等を眺めながら、旅に出た気分を味わってみませんか。



「西国航路図」(部分)  
江戸時代前期、17世紀

### 考古・歴史

#### 失われた古墳と救われた考古資料 ～遺跡保護運動の足跡～

■2022年2月5日(土) — 3月27日(日)

行政による古墳の破壊事件が起こった昭和30年代前半(1955-60)、これに立ち向かった在野の若き考古学者たちの遺跡保護運動の足跡を、重機による掘削から救われた資料群からたどります。



小野市  
焼山古墳群出土の資料  
古墳時代後期

3/27 sun

3/29 tue

### 古地図 地図を作る人II 森幸安

■2022年3月29日(火) — 5月8日(日)

400点近くの自筆地図を遺しながら、その実像がほとんどわかっておらず、「ナゾのカルトグラファー」(地図作製者)と呼ばれている森幸安。彼の著した地誌や地図などから、ナゾの一端に迫ります。



森幸安蔵「摂陽神廟図」  
寛延2年(1749)、  
原図元文4年(1739)  
南波松太郎コレクション

### 考古・歴史

#### 紅塵荘残照—池長孟のまなざし

■2022年3月29日(火) — 5月8日(日)

当館美術コレクションの基礎を築いた池長孟が、昭和3年(1928)に自邸として建築した紅塵荘。池長の美意識が結晶した昭和モダニズム建築の記憶を、スタンドグラスや家具、関連文書から探ります。



「紅塵荘スタンドグラス  
(アーチ形イルカ文)」  
昭和3年(1928)

5/8 sun

神戸の歴史展示  
1階

2/5 sat

### 地域文化財展示 神戸の平家物語

■2022年2月5日(土) — 3月27日(日)

大輪田泊、福原京、生田森・一の谷合戦など、神戸は平氏ゆかりの地です。平氏の盛衰については『平家物語』が有名ですが、神戸では『平家物語』で語られない逸話も伝わっています。そんな「神戸の平家物語」を展覧します。



歌川芳員「兵庫築嶋人柱の図」 嘉永5年(1852)

3/27 sun

3/29 tue

### 地域文化財展示 新収蔵地域資料展

■2022年3月29日(火) — 5月8日(日)

平成29年度から令和3年度(2017-22)までの5年間に新たに収集した歴史資料のうち、神戸が一躍脚光を浴びた開港～明治期の資料を展示します。



一養亭芳瀧「神戸海岸ヨリ兵庫和田ノ眺望図」  
明治4年(1871)

5/8 sun

### 神戸の歴史展示

海や港を介して営まれた神戸の歴史と文化交流について、年代別に展示しています。

年間スケジュール・イベント